

藤生長野バイパスの整備効果

藤生長野バイパスの整備により、渋滞が緩和し、災害時等の代替性が確保され、通行時の安全性が向上することにより、沿線地域や周辺地域に対して、物流面等での信頼性の高いルートの確保等、様々なストック効果*が期待されます。

※ストック効果
道路が整備されることで、その地域の生産性を向上させる効果や、安全性・快適性を高め、衛生環境を改善するなど生活の質を向上させる効果が長期的に生み出すこと

効果① 交通の転換による渋滞の緩和

効果② 走行性・安全性の確保と死傷事故の減少

当該道路の整備により、**速達性の高い道路ネットワークが形成され、現道の交通が当該路線に転換**することにより、**現道で発生している渋滞の緩和**が期待されます。

当該道路の整備により、安全で快適な走行環境が形成され、**現道の線形不良箇所を回避した走行が可能**となり、また、交通の転換により**現道の渋滞が緩和するため、死傷事故の減少**が期待されます。



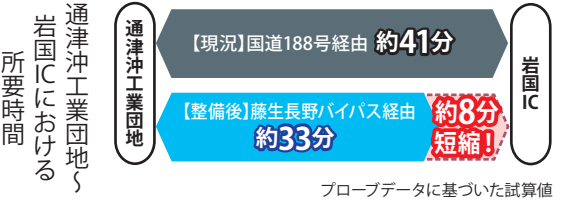
効果③ 災害等に強い道路ネットワークの確保

当該道路の整備により、**現道の代替路として機能**する道路が整備されます。現道が越波や交通事故により通行止めになった際には当該道路が代替路となり**大幅な迂回が解消**することで、**住民生活や企業活動を担う道路ネットワークの確保**が期待されます。



効果④ 地域産業活動支援

当該道路の整備により、**岩国ICや岩国港とのアクセスが向上**され、工業団地から岩国ICや岩国港への時間短縮により**物流の効率化**が期待されます。また、**災害時には代替路として機能**することで、**地域産業の活性化**が期待されます。



一般国道188号



藤生長野バイパス



